

韓国フェミニズム、最大のムーブメント「脱コルセット」とは何か。  
『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』  
『失われた賃金を求めて』に続く、イ・ミンギョン第3弾。

2022年  
3月中旬  
発売

# 脱コルセット：到来した想像

イ・ミンギョン著

訳 生田美保 オ・ヨンア 小山内園子 木下美絵 キム・セヨン すんみ 朴慶姫 尹怡景

脱コルセット運動は「すべての選択を尊重する」だとか「全員美しい」と言う  
代わりに現実につけられた階級をひっくりかえす方法を最大限に考える

ルックス至上主義、規範的女性性に抵抗する脱コルセット運動。韓国の若い女性たちが化粧品を捨て、髪を短くした写真をSNSにアップ、急速に広まりました。女性らしさを「電撃的に打ち切る」強いアプローチを取った背景とは。『私たちにはことばが必要だ』イ・ミンギョンが「脱コル」実践者たちと対話し、読解を試みた渾身の1冊です。ぜひご展開お願いいたします。

## 「脱コル」実践者たちの声 一本書より

家から徒歩1分の距離のスーパーに行くときも、ファンデーションを塗ってから出かけました。本当に……なぜだろうと思います

「きれいになるためには、こんなボディじゃない」と思いながら、さらに身体にフィットする服を着ました。下着も胸をあげて寄せてくれるものが多かったんです。いま見ると全部ゴミです

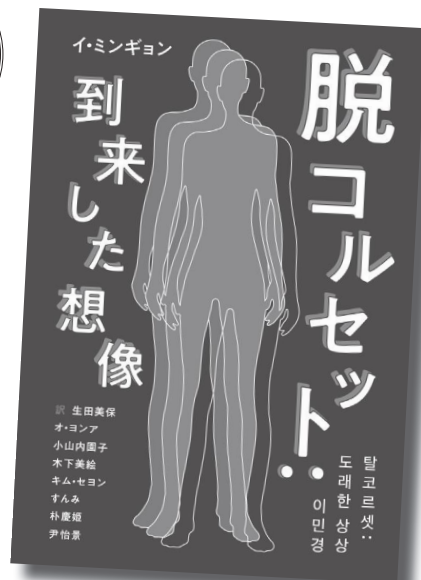
今は、女性の服がすべて人形の服のように見える。人間が着ることを考えて作られた服じゃないような気がするんですよね

女子だけ、ダイエットへの強迫観念がひどいんです。メイクよりずっと深刻です

若い女の子たちにまでビューティー産業が手を伸ばし、「きれいになること」を強調するマーケティングや文化のせいで成長期の女子が自分の身体に対し強迫観念や嫌悪を抱きやすくなっています

## イ・ミンギョン プロフィール

延世大学校仏語仏文学科、社会学科を卒業後、韓国外国語大学校通訳翻訳大学院韓仏科で国際会議通訳専攻修士学位を取得。延世大学校文化人類学科で学びながら、フェミニストのためのことばを物し、訳す活動を行う。



### 目次

日本の読者のみなさんへ イ・ミンギョン

0. 観念から感覚へ
1. 女から人へ
2. する自由からしない自由へ
3. 努力から忘却へ
4. 美しさから痛みへ
5. 平面的な自我イメージから立体的な自分へ
6. 美の観点から機能の観点へ
7. 男性の他者から、女性として同一視された女性へ
8. 画一的な日課から多様な日常へ
9. 順応から違反へ
10. 分裂から統合へ
11. 今、ここから、別の世界へ
12. 死から生へ
13. さあ、次の世代へ

装丁◎沼本明希子 (direction Q)

判型頁数◎四六判・ソフトカバー・336ページ予定  
予価◎本体 2,000円+税  
ISBN978-4-907053-53-6 C0098

FAX : 03-3294-2177 JRC宛

◎取次 = JRC tel 03-5283-2230 fax 03-3294-2177

JRCを通して全ての取次への出荷が可能です。

◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

貴店番線印	ご注文数	タバックス	社会／エッセイ	返
ご担当 様		<b>脱コルセット：到来した想像</b> <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">新刊</span> イ・ミンギョン 訳 生田美保 オ・ヨンア 小山内園子 木下美絵 キム・セヨン すんみ 朴慶姫 尹怡景 2022年3月中旬 予価 本体 2000円+税 ISBN978-4-907053-53-6 C0098		品
ご担当 様		<b>失われた賃金を求めて</b> イ・ミンギョン 訳 小山内園子・すんみ 定価 本体 1700円+税 四六判変型 / 216頁 / 2021年2月 ISBN978-4-907053-47-5		条件
ご担当 様		<b>私たちにはことばが必要だ</b> <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">7刷</span> フェミニストは黙らない イ・ミンギョン 訳 すんみ・小山内園子 定価 本体 1700円+税 四六判変型 / 228頁 / 2018年12月 ISBN978-4-907053-27-7		付
				き
				注
				文
				扱
				い